

一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会

2023年度第1回データベース委員会 議事録

日時: 2023年04月13日(木) 7:00~7:45

場所: 札幌コンベンションセンター1階102会議室

出席委員(敬称略): 金村(担当理事)、有馬(委員長)、石井、池上、今釜、八木、山田、大鳥、吉井、上田、井上、細金、中島、渡邊、中川、相澤、藤田(順)、新村、中村(アドバイザー)、波呂(アドバイザー)

欠席委員(敬称略): 藤田(卓)、種市(アドバイザー)、筑田(アドバイザー)、松山(アドバイザー)

報告事項

1. **理事会報告** (金村理事)
2. **前回議事録の確認**(有馬委員長) **資料 1**
3. **JSSR-DB 概要(構想からJSSR-DB 2023)** (有馬委員長) **資料 2**

2020年4月JOANR に連結する統合型脊椎データベースの構築開始。
2021年11月 安全医療推進委員会の合併症調査を施行(1カ月間)(JSSR-DB2021)
登録施設: 739施設。登録症例数:11602件の登録。推定施設登録率78.1%。
2022年4月 通年登録開始。頸椎人工椎間板DBやLIF合併症調査を内包化、JSIS-DB
(2F部分で水平連携の仕様に変更)(JSSR-DB2022)
2023年4月 引き続き通年登録。2023年度中に3階部分のEOSレジストリーと連携。
(JSSR-DB 2023)
Futureプランは?(波呂アドバイザー)
→自施設データダウンロード、クリニカルインディケータ(全国施設と自施設の比較)、リスクカリキュレーター(術前情報が必要。項目はWGで議論)の構築を検討。PROMsの入力等も検討中(金村理事)
JSIS-DBに関してはどうか?(波呂アドバイザー)
→JSIS-DBについては将来的な統合に向けて今後検討が必要(金村理事)
専門医取得・更新などにJSSR-DBの登録データを使えるのか?(波呂アドバイザー)
→使えるように準備している。(金村理事)
4. **JSSR-DB 2021 年次報告(会員版、一般公開版)** (有馬委員長) **資料 3-1, 3-2**

会員限定版をJSSR会員限定ページにアップロードした。会員版の内容を報告。
術後30日データなので創部感染は実際にはもっと多いのではないかと(山田委員)
→JOANRと連携のため術後30日までのデータであり、実際より低い可能性がある。

本学術集会時のSSIの発表のときに年次報告を使用することは可能か？（山田委員）
→原則、申請をして理事会での承認が必要となるため今回は時間的に不可(波呂アドバイザー)

5. **JSSR-DB 2022 登録状況**（有馬委員長） **資料 4**

2023/3/29時点で120342件の登録あり。1か月平均で12109件で昨年度を越えた登録数となり、最終的に約14-15万件になる予想。JOANRの「一般的な整形外科」で登録している脊椎手術が約17000件ある。News letter等でこれから指導医、専門医を目指す先生方もできるだけJSSR-DBで再登録していただくようお願いする。
頸椎椎間板は2023/3/31時点で手術数182件、登録数150件、登録率82%。JSSR-DB事務局から2-3か月ごとにフィードバックをかけて登録を依頼している。

6. **JSSR-DB 2023 変更点**（有馬委員長） **資料 5**

変更点に関して項目を報告。
DBの入力項目が用語のスタンダードになる傾向がある（金村理事）。
用語委員会等とも連携をとって進めてください。（波呂アドバイザー）。

7. **JSSR-DB 2023 ロードマップ**（有馬委員長） **資料 6**

JSSR-DB 2022は2023年6月末に新規登録を締め切り、2023年11月にデータ固定を予定。合併症発生頻度等の自施設平均、全国平均を表示できるクリニカルインディケータや、術前情報を入力することで対象手術の合併症リスクを予測できるリスクカリキュレーターなどを検討中。

入力者負担を考えるとインセンティブが必要（専門医・指導医更新の際に簡単に症例を取り出せる等）。データにどのように価値を持たせる。どう収益につなげるか。サステナブルなDBとなるためには必要である。（中村アドバイザー）

すでにJSSR社会保険委員会と協議してJSSR-DB2021の解析データを用い、診療報酬改訂の要望を提出した。（金村理事）

JOANRのDBはスウェーデンのDBを参考にした。スウェーデンのDBは国のバックアップを受けている。（山田委員）

自走するDBであることも重要。（中村委員）

賛助会員、企業との連携も考慮する必要がある（波呂アドバイザー）

8. **新技術 DB の進捗状況**

1) **ACR**（上田委員） **資料 7**

登録数 272 例（重複登録 2 例あり）登録完了率は術後 1 年 70%、術後 2 年 56.3%
インプラント登録は入っているか？（波呂アドバイザー）

→インプラント情報の登録は今のところ頸椎人工椎間板だけである。（金村理事）

2) **OLIF51**（大鳥委員） **資料 8**

参加施設：8施設、登録数170例。

登録率は初回登録100%，術後1年82.1%，術後2年72.7%。

関西医大で圧倒的に手術件数が多く、関東ではほとんど行われていない。

審議・検討事項

1. JSSR-DB 2023 検討課題（有馬委員長）

資料 9

課題・問題点

1. 症例登録率の向上
2. データ利用へのアクセス→データ利用規約の策定
3. 他のレジストリーとの連携→3階部分の拡充、プロジェクト委員会との連携
4. データ解析手法の改善→データ量膨大であり、サブ解析の方法の検討が必要。
5. データ品質管理→データクレンジングを行い、データの質の向上に努める。

今後WGで上記内容を検討して委員会で報告・審議していただく。

次回開催日

メールで調整